



公開ヒアリング実施状況

2-2 観光資源のPRに向けた関係団体との連携強化（観光振興課）

区分	内容
基本方針	1 市民等の公益的な地域活動の推進
重点推進項目	③ 地域資源の発掘と積極的なプロモーション活動の推進
取組項目	1. 観光資源の魅力とPRの促進に向けて豊橋観光コンベンション協会等との連携強化 （効果目標等：観光イベント、コンベンション参加者数 現状（H21）103万人 目標（H27）115万人） 2. 首都圏活動や市内でのイベント開催など協働によるプロモーション活動の仕組みづくりと推進 （効果目標等：市外でのシティプロモーション活動回数 現状（H21）6回 目標（H27）15回）
各委員のコメント	<ul style="list-style-type: none">○ 市は新たな戦略を引き出し、それを伸ばす役割を果たすべきである。○ 外から人が来ると、中の人もしっかりするし、活性化につながる。○ テーマを整理することが重要である。観光資源を掘り起こし、それをつなげて歩いて行けるルートとして開拓する。○ 資源がまだ眠っているように見受けられるので工夫してもらいたい。例えば「豊橋は人が良い」というのも資源である。情報発信を充実してほしい。
市民意見	<ul style="list-style-type: none">○ 豊橋市しかないものをもっとPRすべきである（吉田城・自然歩道・トーチカ・動物園）。また、そのためには自然歩道に駐車場が必要である。○ 旅行者は新しいものを発見したい。意外とおもしろかったというのが大切で、それがリピーターにつながる。一度でお腹いっぱいになる観光地には二度は行かない。住みやすさ、動きやすさを活かし、生活の一部になるような観光地を目指してみてもどうか。